

分類研究分科会

代表者：藤倉 恵一（文教大学）

会員数：7名（正会員5名，個人会員2名）

会 員：	川上 勝慎（獨協大学）	鈴木 学（日本女子大学）	
	藤倉 恵一（文教大学）		以上正会員
	荒井 邦子（東京慈恵会医科大学）	村上 明子（桐蔭横浜大学）	以上正 ML 会員
	小林 美佐（昭和女子大学）	田中 環（文化学園大学）	以上個人 ML 会員

年会費：なし

例会開催回数：11回（合宿1回含む）

延べ参加者数：55名

研究分科会ホームページ URL：<http://www.jaspul.org/pre/e-kenkyu/bunrui/>

活動

1) 基本テーマ

件名，シソーラス，Indexing 理論等を含んだ“トータル”な意味での図書館分類法とその理論に関する研究を基本テーマとする。

今期は，過去3期の研究を継承し，現在日本図書館協会分類委員会から会期中に刊行予定の『日本十進分類法（NDC）』新訂10版について検証と評価，および必要な提言をすることをメインテーマとし，「日本十進分類法新訂10版の「つかい方」をさぐる」とする。また，そのために必要な理論的基盤の研究についても並行して行う。

2) 活動の概要

分類研究分科会は2年間で(1)研究テーマに沿った文献の精読を通じて参加会員の基礎レベルを整える，(2)主たる研究テーマの研究・検証を行う，(3)研究成果の発表および総括の3つの期間に分けて活動する。

2014年度は第1期の活動を行う。

2. 1) 第1期 図書館分類法理論の基礎

第1期の活動として，図書館分類法を理論的かつ体系的に学ぶための基本文献であるジャック・ミルズ著，山田常雄訳『現代図書館分類法概論』を精読した。同書は既に原書の刊行からおおよそ半世紀，邦訳されてからも30年以上経過しているが，日本語になったもので同書を超越する理論書はない。分類研究分科会でもかつて数度にわたり精読しているが，メンバーの多くが入れ替わっていることもあり，再度取り上げた。

同書は難解であり，読むだけでも相当な時間を要するが，わが国の図書館情報学教育や実践の場ではあまり考慮されることのない分類法の基礎理念を知ることのできる格好のテキストである。

- ・ J.ミルズ著；山田常雄訳. 現代図書館分類法概論. 日本図書館研究会，紀伊国屋書店（発売），1982, viii, 193p.

2. 2) 夏期研究合宿

夏期研究合宿は，第1期の活動に関連して，最新の図書館情報学（情報資源組織関連）

教科書のうち1冊を取り上げ、集中的に精読した。

司書課程の授業科目が「資料組織」から「情報資源組織」と変わったように、従来の「目録」「分類」の枠組みが情報資源の多様化により変容し、またその手法も変わりつつあることについて、より広い視点を踏まえたうえで図書館における主題組織化の現状を把握した。

- ・ 根本彰, 岸田和明編. 情報資源の組織化と提供. 東京大学出版会, 2013, viii, 198p. (シリーズ図書館情報学, 2).

2. 3) 会場記録および活動概要

2014年 4月19日(金) 文教大学(越谷)

- 1) 自己紹介
- 2) 会の運営について
- 3) 今期の課題について
- 4) 図書館見学

5月9日(金) 獨協大学

- 1) 『現代図書館分類法概論』精読
- 2) 図書館見学

6月20日(金) 日本女子大学(西生田)

- 1) 『現代図書館分類法概論』精読
- 2) 夏期研究合宿会場について
- 3) 図書館見学

7月18日(金) 神田錦町会議室(東京都千代田区)

- 1) 『現代図書館分類法概論』精読
- 2) 夏期研究合宿の内容について

8月6日(水)～8日(金) ホテル四季彩(神奈川県湯河原町)

- 1) 『情報資源の組織化と提供』精読

9月26日(金) 文教大学(越谷)

- 1) 夏期研究合宿について(総括)
- 2) 『現代図書館分類法概論』精読

10月24日(金) 東京慈恵会医科大学(国領)

- 1) 『現代図書館分類法概論』精読
- 2) 図書館見学

11月29日(土) アカデミー音羽(東京都文京区)

- 1) 『現代図書館分類法概論』精読

12月12日(金) 日本女子大学(目白)

- 1) 『現代図書館分類法概論』精読
- 2) 図書館見学

2015年 2月13日(金) 日本図書館協会会館

- 1) 『日本十進分類法』新訂10版刊行について
- 2) 『現代図書館分類法概論』精読

3月5日(木) 東京慈恵会医科大学(西新橋)

- 1) 『現代図書館分類法概論』精読
- 2) 図書館見学

資料

1) 刊行物

特になし。

2) 事業

ア. TP&D フォーラム 2014 (第 24 回整理技術・情報管理等研究集会) の共催

1991 年に日本図書館研究会整理技術研究グループ (現・情報組織化研究グループ) により始められた TP&D フォーラムは, 第 2 回から分類研究分科会が共催者となり運営に参画してきた。2014 年度は横浜で開催され, 分科会からは藤倉・川上・鈴木・村上・小林の 5 名が出席した。

フォーラムの参加者は教員, 図書館員, データベース業者などさまざまであり, これに分科会が参加・関与することの利点は(1) 主題組織分野における最新の研究動向の把握, (2) 分野を同じくする教員や研究者との交流, (3) この分野の研究基盤継承への貢献 であるといえる。

なお, 2015 年度は 8 月 29・30 日に静岡にて開催される予定である。

イ. 日本図書館協会分類委員会への参画

2007 年度より, 分類研究分科会を代表して藤倉が NDC の編纂に携わっている。これによって, 分類研究分科会での研究成果を多少なりとも NDC の編纂に役立てることができるとし, 逆に最新の動向を分科会に持ち帰ることができる。

2015 年 1 月, NDC10 版が刊行された。これには過去 4 度にわたり分類研究分科会が提出した意見書も少なからず影響を及ぼしている。2015 年度は, 今期の中心課題 (第 2 期および第 3 期) として NDC10 版の課題および改善案について研究する予定である。

(文責・藤倉恵一)